

今も変わらぬ 温りりの温泉浴場

赤湯温泉の由来

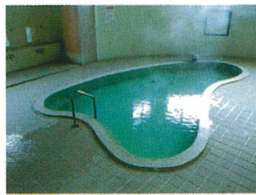
赤湯温泉の由来については諸説があります。平安時代後期、八幡太郎義家の弟義綱が、傷ついた兵士を湯に入れて治したという寛治7年(1093年)の説。鎌倉時代初期、二色根薬師寺と弘法大師、そして米与惣右衛門が登場する正和元年(1312年)説などがあります。古い歴史をもつ赤湯温泉は浴用に飲用に効きめあらたかで、霊泉として今に語り伝えられています。



▲昭和23年当時の丹波湯共同浴場風景



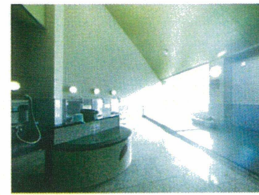
烏帽子の形をした風呂が特徴です。



- ◆営業時間／午前6:00～午前11:30
午後2:00～午後9:30
※午前11:30～午後2:00は清掃、点検のため入浴できません。
※入浴受付時間は午前も最終も30分前です。
- ◆定休日／金曜日
- ◆入湯料／大人(中学生以上) 120円
子ども(小学生以下) 100円
- ◆回数券／10枚で1,000円



大湯と丹波湯を一つにし平成20年10月にオープンした公衆浴場。赤湯温泉観光センター「ゆーなびからこ館」に隣接。



- ◆営業時間／午前8:00～午後2:00
午後3:00～午後9:30
※午後2:00～午後3:00は清掃、点検のため入浴できません。
※入浴受付時間は午後も最終も30分前です。
- ◆定休日／水曜日
- ◆入湯料／大人(中学生以上) 240円
子ども(小学生以下) 100円
- ◆回数券／10枚で2,000円

湯川原源泉

[泉質]
ナトリウム-塩化物温泉
[効能]
神経痛・関節リウマチ・腰痛症
冷え症・疲労回復・健康増進

森の山源泉

[泉質]
含硫黄ナトリウム・カルシウム塩化物温泉
[効能]
きりぎりず・糖尿病・高血圧症
やけど・神経痛・美肌作用



[露天風呂]



「とわの湯」と「あずま湯」を統合し令和4年6月にオープン。源泉かけ流しの大浴場と露天風呂を完備し、置賜地方の公衆浴場では初のバリアフリー浴室を備えております



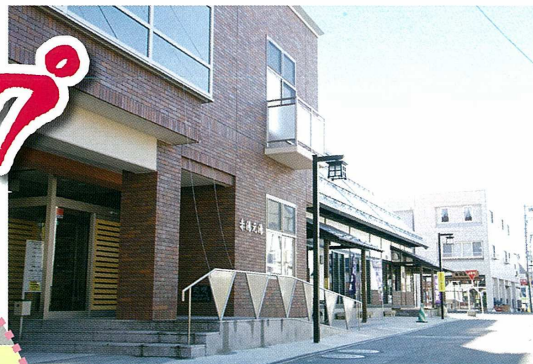
[バリアフリー浴室]



- ◆営業時間／午前6:00～午後10:00
※入浴受付時間は30分前までです。
- ◆定休日／火曜日(祝日の場合は木曜日)
- ◆入湯料／大人(中学生以上) 300円
子ども(小学生以下) 100円
- ◆回数券／10枚で2,000円
※開業後6年目以降は10枚2,500円
- ◆バリアフリー浴室入湯料
大人 800円(80分)、600円(60分)
子ども 400円(80分)、300円(60分)
- ◆2か月パス券／3浴場共通で8,000円
※65才以上の市民対象

湯めぐりマップ

お湯も値段も大満足！
体も心も温まる！
赤湯温泉公衆浴場



赤湯元湯入口



日本一。継目なし石の大鳥居と千本桜



車の方は、写真の「ゆーなびからころ館」を目印に安全運転でお越しください。赤湯元湯は建物の裏側です。



足湯「あっこポッポ湯」と飲泉所



南陽市赤湯財産区 温泉事務所

〒999-2211 山形県南陽市赤湯3004番地の1 TEL 0238(49)7350